

大島まちづくり協議会

みたけニュース

8号

大島まちづくり協議会事務局
 笠岡市大島中1839-6
 TEL 090-7991-4928
 FAX 0865-67-6818
 メールアドレス oshimachi@yahoo.co.jp

ごあいさつ

会長 大島 博

平素から、大島のまちづくりの推進につきましては、格別のご理解とご支援を賜り感謝いたしております。
 昨年度までは、継続事業として、皆様方の積極的な参加により魅力あるまちづくりに取り組んでいただきましたが、今年度から原則1協議会当たり100万円の活動交付金内で活動計画を立てるよう指示がありました。従って、これまでの8継続事業は、笠岡市交付金では運営が困難になりました。しかし、これらの事業のほとんどは、「福祉の大島」を継続するためには中断できません。そこで、別記の新規事業をNPOの事業の見直しとして、細々ながら継続に努めてまいりたいと考えております。
 超高齢社会の到来により、地域力が急速に低下しており、地方創生が叫ばれながらも、私どもを取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。
 従って、まちづくり協議会の活動には自ずと限界があり、諸問題を解決するには、皆様方のご協力、ご支援がなお一層必要であると考えております。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

歴史サミットの案内 講演会の予告

大島歴史散歩



- 1) 日時 2016年1月24日(日) AM9:30~11:30
- 2) 大島中学校体育館
- 3) 演題 大島の歴史入門・・・原田直次郎の生涯にふれて(仮称)
- 4) 講師 谷一 尚先生
山陽学園大学教授・副学長・前：オリエント美術館館長
現：林原美術館館長
- 5) 概要

笠岡市大島地区は、風光明媚な名勝が多く、文化遺産の宝庫でもあります。津雲貝塚に見られるように、縄文の昔より繁栄していた地域です。今回は、その中から、ご要望の多かった西大島恩徳の原田家の概要を紹介し、その一員で、渡独して歴史画を学び、森鷗外とも生涯に亘り親交の深かった明治の洋画家、原田直次郎(1863.8.30 ~ 1899.12.26)の画業を提示しながら辿ります。

平成27年度通常総会開催(まち協)



平成27年6月28日(日)、平成27年度通常総会を開催しました。提出された議案はすべて原案通り可決承認されました。

- 第1号議案 平成26年度 大島まちづくり協議会事業報告及び決算
- 第2号議案 平成27年度 大島まちづくり協議会事業計画及び予算
- 第3号議案 任期満了等に伴う役員を選任

役員異動表

役員異動 一覧<まち協>			
退任者		新任者	
相談役	高倉 宏充	相談役	佐藤 尊保
副会長	藤井 正信	副会長	浅野 正明
	大島 浩文		浅野 ツヤ子
	浅野 節治		高田省一郎
理事	広常 玲子	理事	藤井 治雄
	斎藤 豊		二階堂徳栄
			入江 文子
			原田 洋介
			藤井 茂

平成26年度 事業報告

- ①山林の樹木伐採と土地造成整備事業 (多目的広場管理運営事業)
- ②耕作放棄地の再生・生きがいづくり
- ③花街道づくり
- ④お宝探し健康ウォーキング事業といきいきサロン運営
- ⑤大島花名所づくり
- ⑥ふれあいマーケットの運営
- ⑦海の見える家のテラス運営
- ⑧観光振興と地域活性化事業

平成27年度事業計画

- ①大島地域力復活事業
活魚バーベキューによる交流促進を行う。(魚市場とコラボして未利用魚を活用)
古民家を借用し、トレッキング、ウォーキングの休憩所にする。
古民家を山陽学園のゼミ、合宿場所として提供する。
特産品開発を山陽学園大学と共同研究する。
空き家へ中長期滞在されるように推進をはかり定住促進、地域活性化に繋げる。
- ②岡山県指定重要無形民俗文化財の保護と継承事業
「大島の傘踊り」の継承に必要な貸与衣装を購入する。(20着)
- ③大島歴史名所マップ作成とサミットの開催
御嶽山巡りのマップを完成する。
観光振興と地域活性化事業で発行、郷土歴史資料の集大成としてサミットを開催する。
サミットは、大島の食材を生かした弁当で大学生を中心に行う。
※その他平成26年度事業継続は、笠岡市からの交付金がないため、掲載省略

大島にて田植え体験

山陽学園大学生生活心理学科 赤沢 智夏

今回、大島にて田植え体験をさせていただきました。田植えをするのは小学生の時にしたことがありますが、大学生になってするのは体力的な問題でかなり大変でした。昔は、泥なんて大丈夫でしたが、長靴が埋まって身動きが取れなくて足を抜くだけでしんどかったです。友達が機械を使って操作していましたが、機械の重さと足を抜くことに必死で、真っ直ぐ操作することが大変そうでした。自分たちが身を持って体験した結果、機械を使って田植えをしたとしても、相当の体力と時間がかかると思うとお年寄りの方々はとてもガッツがあると思いました。今回、私たちはほんの一部しかお手伝いをするのができませんでしたが、あの田んぼに田植えをすることは本当に大変なことであり、もっと時間が許すのであればお手伝いしたいなと思いました。秋頃には、稲刈りを体験させていただけるということなので、楽しみにしています。あと、おいしい料理も振る舞っていただいていたありがとうございます。からあげや肉じゃが、おにぎり、お汁、全部が美味しかったです。前の日や朝早くから作っていただいて、何から何までお世話になりました。自分たちの孫のように優しく接していただき、貴重な体験をありがとうございました。



山陽学園大学協働事業

平成27年4月1日~平成28年3月31日

日付	イベント名	会場	
4/4	土	オリエンテーション	大島海の見える家
6/22	月	田植え 生活心理学科8名参加	大島まちづくり耕作放棄地
7/3	金	連携協力の協定調印式	大島海の見える家
7/25	土	天王宮 夏祭り	大島天王宮 (地域でバーベキュー)
10/4	日	西大島八幡宮秋祭り	大島西大島地区
10/末		稲刈り	大島まちづくり耕作放棄地
10/12	月	三世代交流サロンシンポジウム (参加100名)	大島海の見える家
11/22	日	秋穫祭 (参加1000名)	大島海の見える家
10/17/ ~ 18	土~日	大島中河神社秋祭り	大島海の見える家または、乗時広場
1/24	土	歴史サミット	大島中学校体育館
		谷一副学長 大島の歴史入門講演 原田 直次郎の生涯にふれて	